

## 福澤諭吉演説一覽

平 山 洋

### 凡例

- (1) この資料は、2005年末までに発見されている福澤諭吉による演説を時系列順に配列したものである。
- (2) 作成にあたり、松崎欣一著『語り手としての福澤諭吉—ことばを武器として』（慶應義塾大学出版会刊・2005年8月）282頁から295頁までに掲載されている、「付表1 福澤諭吉の演説」と「付表2 福澤諭吉と三田演説会」を参考にしている。
- (3) 各演説の所在は『福澤諭吉全集』（岩波書店刊）「時事新報論集」等、および『時事新報マイクロフィルム』（ニチマイ）によって確認した。
- (4) 回・年月日・演題・全集・影響関係の順で掲載している。
- (5) 回とは、全演説中の順番を指し、三田演説会などの開催回数ではない。
- (6) 年月日は、西暦で示す。例えば「740607」は、「1874年6月7日」である。月日が判明していない場合は下4桁を「0000」とし、日が不明の場合は下2桁を「00」とする。
- (7) 演題は、旧漢字カタカナ混じりを、新漢字ひらがな混じりとした。
- (8) 全集とは、全集中の所在を示す。「01056」とは、全集第1巻56頁である。別巻に掲載されている場合は「22\*\*\*」とする。また、「松\*\*\*」で示されている3編は、松崎欣一著『三田演説会と慶應義塾系演説会』（慶應義塾大学出版会刊・1998年4月）に掲載されているものである。
- (9) 影響関係では、その演説が関係していると考えられる福澤の署名著作・無署名論説を示した。署名著作の場合はそのタイトルを、時事新報社説等の場合は、「社説820322？」などと表記した。「1882年3月22日」掲載の社説との関与が濃厚である、という意味である。演説筆記がそのまま社説として掲載されている場合には「？」は付さない。最後に「未」が付されたものは、全集未収録で、マイクロフィルムにより所在を確認した社説である。当該表題は脚注に示している。

## 福澤諭吉演説一覧

回	年月日	演 題	全集	影響関係
1	740607	明治七年六月七日集会の演説	01056	
2	741116	征台和議の演説	19539	
3	750000	書生に職業を授けるの急務なるを云う	21397	『学問のすすめ』?
4	750000	学校の教育の法は国中一様ならざるを欲す	21398	『学問のすすめ』?
5	750501	明治八年五月一日三田集会所発会の祝詞	20134	
6	750605	政府と人民 (仮)	22206	『文明論之概略』?
7	751218	子供を育てるに側の大切なことを論ず	21389	『福沢文集』一?
8	760318	遊楽風韻に就いて (仮)	19701	
9	760527	子供の教育は余り厳ならずしてよき例を示す は則よき教なり	21391	『福沢文集』一?
10	760708	人意に所有のライトあるを論ず	21394	『通俗民権論』?
11	770124	日本演説会の起源及びその利益		
12	770214	世間の害悪を除く法	20156	
13	770310	明治十年三月十日開成学校講義室開席の祝辞	19628	
14	770428	三田演説会第百回の記	04476	『福沢文集』二
15	780100	門閥論	19642	『民権論』草稿?
16	780117	明治十一年一月十七日集会の記 (仮)	04480	『福沢文集』二
17	780325	中央電信局開業式の祝辞	04470	『福沢文集』二
18	780327	明治十一年三月二十七日東京府庁議事堂演説	19650	
19	780511	国の装飾の事・日光芝上野の事	04521	『福沢文集』二
20	781012	国権論 (仮)	松579	『通俗国権論』?
21	781029	外国交際論 (仮)	松581	『通俗国権論』?
22	790000	功名論	松598	『通俗国権論』?
23	790111	外交論 (仮)		『通俗国権論』?
24	790125	明治十二年一月二十五日慶応義塾新年発会の記	04533	『福沢文集』二
25	790208	華族を武辺に導くの説	20196	
26	790223	富貴保存の説		『通俗民権論』?
27	790308	品行論 (仮)	05415	『福沢文集』一
28	790322	三田の犬外国新聞論 (仮)		

## 研究ノート・資料

- 29 790328 東京学士会院第六会演説 21301
- 30 790412 宗教の利害 (仮)
- 31 790426 蒸気電信印刷之説 (仮) 『民情一新』?
- 32 790428 教育論 20202 『福沢文集』二
- 33 790510 切棄免許論 (仮)
- 34 790524 外戦不可急 (仮) 『通俗国権論』?
- 35 790614 民権論 (仮) 『通俗民権論』?
- 36 790625 東京学士会院第十一会演説 22209
- 37 790628 民権論前回の続 (仮) 『通俗民権論』?
- 38 790712 民情論 (仮) 『民情一新』?
- 39 790913 門閥論 『福沢文集』二?
- 40 790927 富豪の子弟教育の事 (仮) 19703 『民間経済録』二
- 41 791011 門閥論前々回の続 『福沢文集』二
- 42 791018 明治十二年十月十八日東京大学医学部学位授 19703 『民権論』草稿?  
与式の祝詞
- 43 791025 交通論 『民情一新』?
- 44 791108 物理学之要 『民情一新』?
- 45 791122 平民教育の論 社説820322?
- 46 791213 職業の説 『民情一新』?
- 47 800110 支那之説
- 48 800125 交詢社発会の演説 19659
- 49 800125 変動以治安を維持す
- 50 800207 明治十三年二月七日東京築地寿美屋に於て演説 19662
- 51 800215 高等私立学校に就いて試験法を定め学力優等 21304  
なる者は宜しく徴兵を延期すべき議案
- 52 800228 漢学之説
- 53 800229 明治十三年二月二十九日愛宕下青松寺に於け 19664  
る交詢社定期小会演説
- 54 800327 貧民自立之説
- 55 800425 明治十三年四月二十五日両国中村楼に於ける 19665  
交詢社第一回大会演説
- 56 800509 貧民自立之説前会の続

- 57 800612 保険之説
- 58 800626 運輸交通の説
- 59 800710 苦楽の説
- 60 800724 品行論
- 61 800911 運輸交通の説
- 62 800925 体育論
- 63 801023 漢学之説
- 64 801127 学者出身の法
- 65 801211 前回之続 19708
- 66 810108 孔孟の教が我日本の文明に如何なる影響を及  
せし乎
- 67 810125 明治十四年一月二十五日木挽町明治会堂に於 19669  
ける交詢社第一紀念会演説
- 68 810212 殖産興業
- 69 810226 学事の沿革
- 70 810409 不自由論 『時事小言』?
- 71 810514 日本の幸福は蘭学の功德
- 72 810528 宗教の説 20230
- 73 810709 時勢の変遷
- 74 810910 足るを知るの説
- 75 810924 人力の説 社説820623?
- 76 811008 宗教論第一回 19710
- 77 811022 宗教論第二回
- 78 811118 宗教論第三回
- 79 811202 宗教論第四回
- 80 811216 士族論 社説831114? 未<sup>1)</sup>
- 81 820128 利害相半するの説
- 82 820211 経世学論 08052 社説820323
- 83 820225 遺伝之説 08056 社説820325
- 84 820311 僧侶論 08031 社説820313

---

1) 「士族授産」全集未収録

## 研究ノート・資料

- 85 820422 明治十五年四月二十二日木挽町明治会堂に於ける交詢社第三回大会演説 19671
- 86 820515 建置経営の説 20243 「掃除破壊」(仮)
- 87 820527 雑貨輸入の話並に風俗之話 社説820719?
- 88 820610 緒方洪庵先生のはなし
- 89 821014 宗教の独立 社説821020? 未<sup>2)</sup>
- 90 821028 学者之名利
- 91 830113 作文の要用
- 92 830127 政談の燃える所以を説かる 社説830228? 未<sup>3)</sup>
- 93 830210 日本の徳教も西洋の徳教も其本根は正に同一なりとの旨を語る
- 94 830310 仁義礼智信猶ほ寒暖の挨拶の如きを説かる 社説830308?
- 95 830414 一切万事西洋日新の風に習ひ之と共に競ふ可し漢儒の如きは却て之を害するものなりとの旨を説かる 社説830416?
- 96 830421 明治十六年四月二十一日両國中村樓に於ける交詢社第四回大会演説 19672
- 97 830523 物理の元則を説かる
- 98 830609 吾人或は支那に學問上の敵を見るの恐れなきか一日も安閑たる可からざるものとの説を説かる 社説830612?
- 99 830623 青年輩の失敗 09082 社説830705
- 100 830922 漢儒流の説を駁して西洋風輸入の須要焦眉の急たる所以を論さる 社説830907?
- 101 831013 徳育智育の所を説き儒教を駁さる 社説831119?
- 102 831027 再び儒教の空なるを説かる 社説831122?
- 103 831110 西洋學を修むべき次第を説かる 20267
- 104 831124 宗教家は他の宗教毀つ可からず
- 105 831200 學生処世の方向 09328 社説831218
- 106 831208 英文學はさる可らず 社説831226?

2) 「真宗の運命久しからず」全集未収録

3) 「政談の危険は人に存して事に在らず」全集未収録

- 107 831209 明治十六年十二月九日熊谷町談話会に於ける 19674  
演説
- 108 840112 雑話
- 109 840126 衛生上の注意 (仮) 09370 社説840128
- 110 840126 英語英文を学ばざる可からず 社説840802? 未<sup>4)</sup>
- 111 840203 商工社会に所望あり 19676
- 112 840223 血統論 (婚姻の説) 09445 社説840326
- 113 840308 諸生将来立身の方角を説かる 社説840331?
- 114 840318 坐して窮する勿れ 19682 社説840412
- 115 840322 学者自今の急務は殖産の道を開くに在り云々 社説840409? 未<sup>5)</sup>  
の旨を話さる
- 116 840426 明治十七年四月二十六日両国中村楼に於ける 19684  
交詢社第五回大会演説 (仮)
- 117 840614 学者とならんよりは寧ろ金満家と為れ
- 118 840712 今や日本社会の組織自由なれば立身せざるも  
のは其人の罪なりとの事
- 119 840913 奮て実業を執れ
- 120 840927 宗教宣布の方便 社説841002
- 121 841011 殖産を起し貧民の心を慰むるの説 社説841024?
- 122 841025 将来の学者に所望あり 社説841105?
- 123 841108 宗教と米国来信
- 124 841122 三世の話
- 125 850124 商売の方法
- 126 850214 商売は学問に先つ
- 127 850228 学者の小心
- 128 850314 儒教主義 社説850318? 未<sup>6)</sup>
- 129 850328 「リテラチュヤ」を講究す可し
- 130 850404 明治十八年四月四日梅里杉田成卿先生の祭典 10250 社説850407  
に付演説

---

4) 「小学生徒をして英語を学ばしむべし」全集未収録

5) 「往け往けと云はずして来れ来れと云へ」全集未収録

6) 「支那帝国に禍するものは儒教主義なり」全集未収録

## 研究ノート・資料

- 131 850411 婦人責任論 『日本婦人論』 ?
- 132 850425 明治十八年四月二十五日交詢社大会の席にて 19687  
演説
- 133 850613 日本婦人論 『日本婦人論』
- 134 850627 日本婦人論余論 『日本婦人論』 後編
- 135 850700 慶応義塾暑中休業に付き演説 10353 社説850731
- 136 850711 依頼の精神を去れ 『士人処世論』 ?
- 137 850725 道德論 社説850810 ?
- 138 850912 官吏待遇を止むべし 『士人処世論』 ?
- 139 850919 英吉利法律学校開校式の演説 10434 社説850922
- 140 850926 寿命論 19689
- 141 851010 官吏たらんとする勿れ 『士人処世論』 ?
- 142 851212 宇都宮三郎君の話
- 143 860123 慶応義塾学生諸氏に告ぐ（本塾徒弟への教訓・ 10549 社説860202  
学問の要は実学にあり） 『修業立志編』 11
- 144 860213 成学即実業の説、学生諸氏に告ぐ（成学即ち 10554 社説860218  
実業家の説） 『修業立志編』 13
- 145 860227 徳行論 10532 社説860304  
『修業立志編』 24
- 146 860410 専門学の説
- 147 860424 明治十九年四月二十四日交詢社第七大会にて 19693  
演ぶる所あり
- 148 860522 俗物になれ
- 149 860612 実学説
- 150 860710 明治十九年七月十日慶応義塾維持社中の集会 11060 社説860713  
にて演説
- 151 861200 社会の形勢学者の奉公、慶応義塾学生に告ぐ 11183 社説870115
- 152 870122 はなし
- 153 870215 緒方維準氏の別演 19712
- 154 870326 東洋人西洋人の差 社説870420 ?
- 155 870400 交際の必要独立の養生
- 156 870416 交詢社の特色（仮） 11240 社説870418

- 157 870423 明治二十年四月二十三日慶応義塾演説館にて 11254 社説870504  
 学生諸氏に告ぐ（恃むべきは唯自家の才力あ  
 るのみ） 『修業立志編』 10
- 158 870500 処世の道 社説870618?
- 159 870600 節儉と奢侈 社説870714?
- 160 870709 私立学校の要用 社説870926?
- 161 870924 奢り
- 162 871008 私権論 11375 社説871006
- 163 871102 慶応義塾の小改革学生諸氏に告ぐ 19430
- 164 880317 慶応義塾学生に告ぐ（物理学の必要） 11461 社説880317  
 『修業立志編』 15
- 165 880415 明治二十一年四月十五日交詢社会堂に於ける 19695  
 交詢社第九回大会演説
- 166 880602 六月二日府下三田慶応義塾演説、慶応義塾学 11496 社説880605  
 生に告ぐ（先づ鄙事に多能なるべし） 『修業立志編』 12
- 167 881013 食物と快樂の関係
- 168 881027 財産の始末
- 169 890113 学生の父兄に告ぐ
- 170 890127 学生の父兄に告ぐ
- 171 890400 慶応義塾学生に告ぐ 12097 社説890422
- 172 890421 明治二十二年四月二十一日交詢社大会に於い 12102 社説890424  
 て演説
- 173 890425 長男一太郎結婚披露の席上に於ける演説 19714
- 174 890427 英語之すすめ
- 175 890505 一昨五日植半楼に開きし慶應義塾旧友会の席 12130 社説890507  
 上に於ける福澤先生演説筆記（慶應義塾の懐  
 旧談） 『修業立志編』 6
- 176 890513 海外立身のすすめ
- 177 890526 塾生に一言
- 178 890623 相撲所感
- 179 891221 俗之学問
- 180 900126 学者の心得

## 研究ノート・資料

- 181 900127 学問に凝る勿れ (仮) 12361 社説900130
- 182 900427 明治二十三年四月二十七日交詢社大会 12424 社説900430
- 183 900718 学林中の松梅 (仮) 12474 社説900721
- 184 901011 塾政の自治 (仮) (三田演説会の由来・学生の自治) 12522 社説901016
- 185 901025 十月二十五日慶応義塾演説筆記 (学者病の説) 12528 社説901030
- 186 901108 十一月八日慶応義塾演説筆記 (慶応義塾約束の解釈及学生の注意) 12532 社説901117
- 187 901117 同窓の旧情 (仮) 12535 社説901119
- 188 901122 十一月二十二日慶応義塾演説 (親孝行の話) 12542 社説901201
- 189 901213 貧富書生の注意
- 190 910000 養生法
- 191 910001 青年の人使はるる所以
- 192 910426 明治二十四年四月二十六日両国中村楼に於ける交詢社第十二回大会演説 19698
- 193 910613 徳義に付て
- 194 910627 名利のはなし 社説910710?
- 195 910711 明治二十四年七月十一日慶応義塾演説大意 (金銭は独立の基本なり) 13158 社説910715 『修業立志編』 5
- 196 910723 明治二十四年七月二十三日慶応義塾の卒業生に告ぐ (独立の大義を忘るゝ勿れ) 13166 社説910802 『修業立志編』 2
- 197 910926 立身に就ての心得
- 198 911000 地震に就て 社説911030?
- 199 911010 明治二十四年十月十日慶応義塾演説筆記 (須く他人を助けて独立せしむ可し) 13205 社説911020 『修業立志編』 3
- 200 911128 先輩を学ぶの弊
- 201 920125 明治二十五年一月二十五日慶応義塾幼稚舎にて 19437
- 202 920213 明治二十五年二月十三日慶応義塾演説筆記 (修身のはなし・父母は唯其病是憂ふ) 13306 社説920220 『修業立志編』 35
- 203 920312 明治二十五年三月十二日慶応義塾演説筆記 (酒と政論の話・須く政治の上戸となるべし) 13323 社説920320 『修業立志編』 16

- 204 920326 明治二十五年三月二十六日慶応義塾演説筆記 13332 社説920402  
(運動の事に付・衛生の要は消化の如何にあり) 『修業立志編』 36
- 205 920424 明治二十五年四月二十四日交詢社第十三回大 13354 社説920426  
会に於て演説
- 206 920528 英語の必要
- 207 921018 処世のはなし
- 208 921023 明治二十五年十月二十三日慶応義塾演説筆記 13554 社説921028  
(小心翼翼以て大功を期すべし) 『修業立志編』 9
- 209 921105 明治二十五年十一月五日慶応義塾商業倶楽部 13566 社説921115  
の演説筆記
- 210 921112 明治二十五年十一月十二日慶応義塾演説筆記 13572 社説921124  
(熱して狂するなかれ・人間万事兒戯の如し) 『修業立志編』 8
- 211 921126 富豪の要用(仮) 13588 社説921216
- 212 921205 徳風を厚くするには宗教に依頼すべし 20379
- 213 930309 実業の奨励
- 214 930325 外国品と日本品(日本製品に就いて) 14036 社説930427
- 215 930408 攘夷、実業に就て
- 216 930430 明治二十六年四月三十日東京帝国ホテル交詢 14038 社説930502  
社大会の演説
- 217 930610 信用のはなし
- 218 930624 人に成るの法
- 219 931014 心を高尚にす可し
- 220 931029 銅像開被に就て 14179 社説931101  
『修業立志編』 7
- 221 931103 漁業法制定の必要 14186 社説931105
- 222 931111 学者を養ひ殺すべし(人生の樂事) 14195 社説931114  
『修業立志編』 17
- 223 931125 独立自営之論
- 224 940324 体育、道德(国民の体格、配偶の選択) 14336 社説940407  
『修業立志編』 39
- 225 940801 明治二十七年八月軍資醸集相談会に於ける演説 19717 社説940803
- 226 941208 故小泉信吉君に就て

## 研究ノート・資料

- 227 950122 福澤先生の演説 15028 社説950124
- 228 950309 武士らしく有れ 社説950305?
- 229 950413 処世の話 『福翁百話』 51?
- 230 950421 明治二十八年四月二十一日交詢社大会演説大意 15141 社説950423
- 231 950511 昔話 19720 『福翁百話』 31
- 232 950608 志想を高尚にすべし 『福翁百話』 70?
- 233 950629 今後の形態と昔物語に就て 『福翁百話』 62?
- 234 951012 Life 『福翁百話』 7?
- 235 951212 還暦寿筵の演説 15333 社説951214
- 236 960411 改革に就て
- 237 960427 三十年後の名古屋 (仮)
- 238 960613 英語の必要
- 239 961024 人間の気品
- 240 961101 気品の泉源知徳の模範 (仮) 15531 社説961103
- 241 961107 教育の効用 (仮)
- 242 961107 信州人氣質と養蚕 (仮)
- 243 961109 信州における養蚕振興と教育 (仮)
- 244 961114 養生説
- 245 961200 学生の帰省を送る 15571 社説970101
- 246 970327 健康及小説に就て
- 247 970418 明治三十年四月十八日東京帝国ホテル交詢社 19699  
第十八大会の演説
- 248 970619 人の独立自尊 06404 『福翁百余話』 8
- 249 970918 明治三十年九月十八日慶応義塾演説館にて学 16105 社説970921  
事改革の旨を本塾の学生に告ぐ
- 250 971106 明治三十年十一月六日大阪慶応義塾同窓会に 19723 社説971109  
於ける演説筆記
- 251 971114 明治三十年十一月十四日京都懇親会に於ける 19725 社説971118  
演説筆記
- 252 971122 畿内山陽漫遊の話
- 253 971127 忠孝の話 『修業立志編』 28?
- 254 980000 一般教育に就いて 19759

- 255 980128 明治三十一年一月二十八日三田演説会に於ける演説 19728
- 256 980312 明治三十一年三月十二日三田演説会に於ける演説 19736 社説980322
- 257 980405 門野幾之進氏を送る 19742
- 258 980424 交詢社大会席上に於ける演説 16319 社説980426
- 259 980514 バクテリアの説 19743
- 260 980611 着眼を遠大にすべし
- 261 980625 地方の富豪 19747
- 262 980924 法律と時勢 19753
- 263 980928 奉祝長与専斎先生還暦 16487 社説980929
- 264 991125 福澤先生の演説 16648 社説991126